

## 水俣研修へ行って

(福島工業高等専門学校)

私は8月18日から8月23日に、2回目の水俣研修で熊本に行ってきました。中学3年生のときも研修へ行って、現在高校2年生になったが、中学3年生と比べ、水俣病からの復興と今の福島の現状についてどのように考え方が変わったのか、そして現在の福島の現状を伝えることを目的としました。

この研修で感じたことが3つあります。

1つ目は不知火海へ行ったことです。今回も不知火海へ行きましたが、2年前と変わらずとても綺麗な海が広がっていました。メチル水銀で汚染されていた海が、そうだったとは考えられないほど美しく、静かに自分の目の前にありました。海は今もその状態を保ち続けています。福島の海も今でも汚染されているところがありますが、水俣の人たちのように今できることを少しずつ少しずつやれば、きっと前よりも綺麗な海になるのではないかと思います。

2つ目は自分の力の無さです。私はうまく物事について考えることができず、自分で考えたこともうまくまとめて言えないことがあります。なので、この研修を通して少しでもできるようになればというのも、研修に参加した目的でありました。しかし、いざ研修になると人に指名されたり、何か発言しなければいけないときなどで、頭の中で全然まとまっていなかったり、うまく自分の意見を言えなかった場面が多々ありました。考えて、まとめて、話す。これは、将来的に大事なことであると思います。今後は、普段から素早く物事を考え、まとめ、相手に自分の考えを伝えることができるよう努力していこうとおもいます。

3つ目は、熊本の自然にたくさん触れることができたことです。阿蘇の山や、熊本の海、白河の水源など今回の研修で自然に触れることができたと思います。いわきでは見ることのできない景色が多く、とても気持ちがよかったです。白河水源には初めて訪問しました。名水百選の1つとして数えられており、毎分60トンの水が湧き出しています。森林に入ると、気温が下がっていて、暑い日に行ったのでとても気持ちが良かったです。水は透明度が高く、水底の石が湧水の力で躍っている様子に感動しました。水を飲むこともでき口当たりの良い優しい味でたくさん飲んでしまいました。また再度訪問したいなと思いました。

今回の研修では得るものが多かったとおもいます。しかし、ただ得るだけではなく、それをどのように活かすか、それがこれからを切り開く大事なことだと思います。私はこの研修に参加できて本当に良かったです。

